

尾鷲甘夏の出荷最盛

JA伊勢
選果場 甘味、酸味 バランス良し

【伊勢】尾鷲市にあるJA伊勢尾鷲柑橘（かんきつ）選果場で3日、春の訪れを告げる「尾鷲甘夏」の出荷が始まり、現在ピークを迎えている。4月下旬までに名古屋、県内市場へ約90トを出荷する見込み。

「尾鷲甘夏」は、尾鷲市開拓農業協同組合

が1959年から生産を始めた60年以上の歴史があるかんきつ。現在、組合員5人が出荷

と尾鷲湾に反射する光

を受け、甘夏の栽培に適した温暖な気候条件で作られる。

収穫は年明けから2月いっぱいまで行われ

るが、酸を抜くために1個ずつ袋かけし、出荷まで常溫管理する。

同組合の吉沢紀三郎

組合長は「本年度は寒波の影響が心配だったが、例年通りの出来

で、甘味と酸味のバランスが良い甘夏に仕上がっている」と話した。

